

# 調査結果の概要

## 1 県の広報広聴活動について

### (1) 県の広報活動の認知状況

県の広報活動のうち、知っているものは、答えた人の割合が多い順に、「新聞広報『広報あいち』」(49.1%)、「新聞記事やテレビ・ラジオのニュースなどのマスコミ報道」(44.6%)、「市町村が発行している広報紙(誌)による県の広報」(27.9%)となり、上位3つの順位は、今回調査を含め過去6年間変動なし。

県の広報活動の認知状況について、「新聞広報『広報あいち』(毎月第1日曜日に掲載)」と答えた人の割合が49.1%と最も高く、続いて「新聞記事やテレビ・ラジオのニュースなどのマスコミ報道」(44.6%)、「市町村が発行している広報紙(誌)による県の広報」(27.9%)の順となっている。上位3つの順位は、今回調査を含め過去6回の調査(平成25年度～平成30年度)で変動はなかった。

### (2) 県の情報の入手方法

**「新聞記事やテレビ・ラジオのニュースなどのマスコミ報道」が42.3%**

県の情報の入手方法について、「新聞記事やテレビ・ラジオのニュースなどのマスコミ報道」と答えた人の割合が42.3%と最も高く、続いて「新聞広報『広報あいち』(毎月第1日曜日に掲載)」(35.6%)、「パソコン・スマートフォン等で見える愛知県のホームページ」(25.0%)の順となっている。

### (3) 県の広報活動に対する満足度(評価)

**“満足(評価)している”が31.0%、“満足(評価)していない”が22.8%**

県の広報活動について、「十分満足(評価)している」(1.9%)と「ある程度満足(評価)している」(29.1%)を合わせた“満足(評価)している”と答えた人の割合が31.0%であったのに対し、「あまり満足(評価)していない」(18.5%)と「全く満足(評価)していない」(4.3%)を合わせた“満足(評価)していない”と答えた人の割合は22.8%となっている。

### (4) 県の広報活動を充実させる方法

**「テレビ・ラジオ番組による広報」が24.8%**

県の広報活動を充実させる方法について、「テレビ・ラジオ番組による広報」と答えた人の割合が24.8%と最も高く、続いて「新聞広報(広報あいち)や市町村が発行している広報紙(誌)による県の広報」(18.6%)、「パソコン・スマートフォン等や携帯電話(ガラケー)で見える愛知県のホームページによる広報」(8.8%)の順となっている。

## (5) 県の広聴活動の認知状況

**「県政世論調査(今、お答えいただいているこの調査を以前から知っていた)」が23.8%、  
「県の相談窓口(消費生活相談など)」が23.6%**

県の広聴活動の認知状況について、「県政世論調査(今、お答えいただいているこの調査を以前から知っていた)」と答えた人の割合が23.8%と最も高く、続いて「県の相談窓口(消費生活相談など)」(23.6%)、「県の計画案等に対する御意見を募集する、県民意見提出制度(パブリック・コメント制度)」(5.5%)の順となっている。

一方で、「どれも知らない」と答えた人の割合は、50.7%となっている。

## (6) 県の広聴活動に対する満足度(評価)

**“満足(評価)している”が19.1%、“満足(評価)していない”が27.5%**

県の広聴活動に対する満足度(評価)について、「十分満足(評価)している」(1.1%)と「ある程度満足(評価)している」(18.0%)を合わせた“満足(評価)している”と答えた人の割合が19.1%であったのに対し、「あまり満足(評価)していない」(20.2%)と「全く満足(評価)していない」(7.3%)を合わせた“満足(評価)していない”と答えた人の割合は27.5%となっている。

## (7) 県の広聴活動を充実させる方法

**「この県政世論調査のような、郵送によるアンケート調査」が17.4%**

県の広聴活動を充実させる方法について、「この県政世論調査のような、郵送によるアンケート調査」と答えた人の割合が17.4%と最も高く、続いて「インターネットを利用したアンケート調査」(14.0%)、「『県政への御提言』のような、インターネット・Eメールを利用した自由提案による意見募集」(13.4%)の順となっている。

## 2 住宅対象侵入盗に対する防犯対策について

### (1) 住宅対象侵入盗の発生件数が平成29年時点で11年連続全国ワースト1位であること 「知らない」が64.2%

住宅対象侵入盗の発生件数が平成29年時点で11年連続全国ワースト1位であることについて、「知っている」と答えた人の割合が34.2%であったのに対し、「知らない」と回答した人の割合が64.2%となっている。

### (2) 住宅対象侵入盗の発生件数が平成29年時点で11年連続全国ワースト1位であることを知った媒体

**「テレビ」が65.1%**

住宅対象侵入盗の発生件数が平成29年時点で11年連続全国ワースト1位であることを知った媒体について、「テレビ」と答えた人の割合が65.1%と最も高く、続いて「新聞」(43.9%)、「自治体の情報発信(回覧版等)」(28.3%)の順となっている。

### (3) 住宅対象侵入盗に関して求める情報

#### 「タイムリーな犯罪発生情報」が28.1%

住宅対象侵入盗に関して求める情報について、「タイムリーな犯罪発生情報」と答えた人の割合が28.1%と最も高く、続いて「防犯対策に関する情報」(22.5%)、「犯行の方法に関する情報」(17.4%)の順となっている。

### (4) 短時間外出時の鍵掛けの状況

#### 「玄関に鍵を掛ける」が60.6%

短時間外出時の鍵掛けの状況について、「玄関に鍵を掛ける」と答えた人の割合が60.6%と最も高く、続いて「窓に鍵を掛ける」(35.8%)、「勝手口に鍵を掛ける」(34.3%)の順となっている。一方で、「どこの鍵もかけない」と答えた人の割合は、29.5%となっている。

### (5) 就寝時の鍵掛けの状況

#### 「玄関に鍵を掛ける」が96.9%

就寝時の鍵掛けの状況について、「玄関に鍵を掛ける」と答えた人の割合が96.9%と最も高く、続いて「窓に鍵を掛ける」(78.7%)、「勝手口に鍵を掛ける」(71.4%)の順となっている。

### (6) 住宅対象侵入盗に対する防犯対策

#### 「センサーライトを設置している」が40.3%、「不在時に部屋の灯りをつけている」が40.1%

住宅対象侵入盗に対する防犯対策について、「センサーライトを設置している」と答えた人の割合が40.3%と最も高く、続いて「不在時に部屋の灯りをつけている」(40.1%)、「補助錠を取り付けている」(21.2%)の順となっている。

一方で、「特になし」と答えた人の割合は、18.6%となっている。

### (7) 住宅対象侵入盗の対策として警察に期待すること

#### 「パトロールによる防犯活動の強化」が75.6%

住宅対象侵入盗の対策として警察に期待することについて、「パトロールによる防犯活動の強化」と答えた人の割合が75.6%と最も高く、続いて「犯罪の取締り(犯人の逮捕)」(50.1%)、「侵入盗発生に関する情報提供」(42.1%)の順となっている。

## 3 あいちの文化芸術活動について

### (1) 愛知の誇ることのできる文化芸術資源

#### “ある”が49.9%、“ない”が15.8%

愛知の誇ることのできる文化芸術資源について、「たくさんある」(11.2%)と「ある程度ある」(38.7%)を合わせた“ある”と答えた人の割合が49.9%であったのに対し、「あまりない」(13.6%)と「全くない」(2.2%)を合わせた“ない”と答えた人の割合は15.8%となっている。

**(2) この1年間で直接会場などに足を運んで鑑賞した文化芸術**

**「美術」が24.5%**

この1年間で直接会場などに足を運んで鑑賞した文化芸術について、「美術」と答えた人の割合が24.5%と最も高く、続いて「メディア芸術（映画、漫画、アニメーション、コンピュータを利用した芸術など）」(21.0%)、「音楽」(20.4%)の順となっている。

一方で、「鑑賞したものはない」と答えた人の割合は、32.7%となっている。

**(3) この1年間に鑑賞だけではなく活動を行った文化芸術活動**

**「地域の民俗芸能（山車祭り、棒の手、田楽、獅子舞などの、地域の人々によって行われる芸能や祭り）への参加」が7.7%**

この1年間に鑑賞だけではなく活動を行った文化芸術活動について、「地域の民俗芸能（山車祭り、棒の手、田楽、獅子舞などの、地域の人々によって行われる芸能や祭り）への参加」と答えた人の割合が7.7%と最も高く、続いて「文化芸術に関する習い事の受講」(5.5%)、「文化芸術に関する支援（企画・運営、教育・指導、寄附、ボランティア活動など）」(4.5%)の順となっている。

一方で、「特に行ったことはない」と答えた人の割合は、75.6%となっている。

**(4) 文化芸術の振興を図るために愛知県が力を入れるべきこと**

**「子どもの文化芸術活動の充実（子どもが文化芸術に触れる機会の提供など）」が36.3%**

文化芸術の振興を図るために愛知県が力を入れるべきことについて、「子どもの文化芸術活動の充実（子どもが文化芸術に触れる機会の提供など）」と答えた人の割合が36.3%と最も高く、続いて「学校教育における文化芸術活動の充実」(27.2%)、「美術館、劇場などの文化芸術施設の充実」(24.0%)の順となっている。

**(5) この3年間で訪れたことのある美術館・博物館等（県外施設も含む）**

**「絵画作品を中心とした施設（愛知県美術館など）」が31.0%**

この3年間で訪れたことのある美術館・博物館等（県外施設も含む）について、「絵画作品を中心とした施設（愛知県美術館など）」と答えた人の割合が31.0%と最も高く、続いて「自然・科学展示を中心とした施設（名古屋市科学館など）」(25.2%)、「郷土史等を中心とした施設（市町村の歴史民俗資料館など）」(19.4%)の順となっている。

一方で、「1つもない」と答えた人の割合は、34.6%となっている。

**(6) 愛知県陶磁美術館を訪れたことがない理由**

**「存在を知らなかった」が54.6%**

愛知県陶磁美術館を訪れたことがない理由について、「存在を知らなかった」と答えた人の割合が54.6%と最も高く、続いて「陶磁器に興味がない」(17.6%)、「愛知県陶磁美術館の展覧会などの情報がない」(10.6%)の順となっている。

**(7) 愛知県陶磁美術館に期待する展覧会やサービス  
「自由に制作できる陶芸体験」が27.0%**

愛知県陶磁美術館に期待する展覧会やサービスについて、「自由に制作できる陶芸体験」と答えた人の割合が27.0%と最も高く、続いて「古伊万里など伝統的な日本の陶磁器作品の展覧会」(24.2%)、「飲食・物販の充実」(18.4%)の順となっている。

**4 愛知県図書館の利用状況とサービスについて**

**(1) 愛知県図書館のサービスで利用したことがあるもの  
「本や雑誌、DVDなどの資料の閲覧・貸出」が22.2%**

愛知県図書館のサービスで利用したことがあるものについて、「本や雑誌、DVDなどの資料の閲覧・貸出」と答えた人の割合が22.2%と最も高く、続いて「閲覧席・インターネット席などの利用」(7.1%)、「県図書館の資料を、地元の図書館を経由して取り寄せたり、返却するサービス」(2.3%)の順となっている。

一方で、「県図書館のサービスを利用したことがない」と答えた人の割合は、62.4%となっている。

**(2) 愛知県図書館を利用したことがない理由  
「県図書館は遠くて利用しにくいから」が47.8%**

愛知県図書館を利用したことがない理由について、「県図書館は遠くて利用しにくいから」と答えた人の割合が47.8%と最も高く、続いて「県図書館のことをよく知らなかったから」(29.3%)、「図書館を利用したいと思わないから」(10.4%)の順となっている。

**(3) 愛知県図書館が力を入れるべき県内市町村図書館等への支援  
「県内市町村図書館にはない専門的な資料（本や雑誌、DVDなど）を収集し貸し出す」が29.5%**

愛知県図書館が力を入れるべき県内市町村図書館等への支援について、「県内市町村図書館にはない専門的な資料（本や雑誌、DVDなど）を収集し貸し出す」と答えた人の割合が29.5%と最も高く、続いて「県図書館の資料（本や雑誌、DVDなど）が地元の図書館に届くまでの日数を短縮する（現在は、利用者へ到達に1週間前後要する）」(14.22%)、「県立学校等に資料の貸出しや読み聞かせ等を行い、子どもの読書活動を支援する」(14.15%)の順となっている。

一方で、「特になし」と答えた人の割合は、21.8%となっている。

#### (4) 充実してほしい愛知県図書館のインターネットサービス

##### 「インターネットを利用して電子書籍・音楽を楽しめるサービス」が27.2%

充実してほしい愛知県図書館のインターネットサービスについて、「インターネットを利用して電子書籍・音楽を楽しめるサービス」と答えた人の割合が27.2%と最も高く、続いて「インターネットで資料（本や雑誌、DVDなど）を予約して、自宅から近い県の類似施設などで受け取るサービス」（27.0%）、「県図書館で所蔵する地域資料・貴重図書などをデジタル化し、ホームページで見ることができるサービス」（22.1%）の順となっている。

一方で、「特にない」と答えた人の割合は、23.0%となっている。

#### (5) 愛知県図書館が充実・強化すべきサービス

##### 「県図書館へ行かなくても受けられるサービス（音楽配信サービス・デジタル化した資料の提供）」が33.4%

愛知県図書館が充実・強化すべきサービスについて、「県図書館へ行かなくても受けられるサービス（音楽配信サービス・デジタル化した資料の提供）」と答えた人の割合が33.4%と最も高く、続いて「本や雑誌、DVDなどの資料の量や種類」（27.2%）、「心地の良いサードプレイスとして、県図書館を整備」（21.5%）の順となっている。

## 5 食と緑への関わりについて

#### (1) この1年間に行った農林水産業に親しむ取組

##### 「愛知県産の農林水産物を意識して消費（購入）・利用」が34.6%

この1年間に行った農林水産業に親しむ取組について、「愛知県産の農林水産物を意識して消費（購入）・利用」と答えた人の割合が34.6%と最も高く、続いて「市民農園や家庭菜園などを利用して野菜などを栽培」（15.4%）、「農林漁業体験や自然体験へ参加（田植え、芋掘り、果物狩り、乳搾り、干伐、木工教室、潮干狩り、舟釣りなど）」（9.1%）の順となっている。

一方で、「農林水産業に関係する活動に取り組まなかった」と答えた人の割合は、37.4%となっている。

#### (2) 食べ残しなどのむだや廃棄の少ない食事づくり

##### 「できるだけするようにしているが、まだ改善の余地がある」が30.2%

食べ残しなどのむだや廃棄の少ない食事づくりについて、「できるだけするようにしているが、まだ改善の余地がある」と答えた人の割合が30.2%と最も高く、続いて「積極的にしている」（25.4%）、「できるだけするようにしており、概ねできている」（24.8%）の順となっている。

### (3) 我が国の食料供給のあり方

**「外国産に比べて価格が多少割高でも、食料はできるだけ国内で自給すべき」が44.7%**

我が国の食料供給のあり方について、「外国産に比べて価格が多少割高でも、食料はできるだけ国内で自給すべき」と答えた人の割合が44.7%と最も高く、続いて「価格に関わらず、品質の良い食料は輸入し、他は国内で自給すべき」(17.4%)、「外国産に比べて価格が多少割高でも、主食であるコメだけはできるだけ国内で自給すべき」(14.7%)の順となっている。

### (4) 農産物等を購入する際に優先する産地

**「国内産を優先する（愛知県産にはこだわらない）」が63.8%**

農産物等を購入する際に優先する産地について、「国内産を優先する（愛知県産にはこだわらない）」と答えた人の割合が63.8%と最も高く、続いて「産地にはこだわらず価格や品質などを優先する」(16.1%)、「愛知県産を優先する」(15.8%)の順となっている。

### (5) 木材を使う場合に優先する産地

**「産地にはこだわらず価格や品質などを優先する」が34.8%**

木材を使う場合に優先する産地について、「産地にはこだわらず価格や品質などを優先する」と答えた人の割合が34.8%と最も高く、続いて「国内産を優先する（愛知県産にはこだわらない）」(32.7%)、「木造住宅を建てたりリフォームで木材を使った経験や予定がない」(15.6%)の順となっている。

### (6) 農林水産業や農山漁村に期待する多面的機能の役割

**「森林などが降雨を貯留して河川の流量を安定させたり、地下水をきれいする水源かん養の役割」が41.8%**

農林水産業や農山漁村に期待する多面的機能の役割について、「森林などが降雨を貯留して河川の流量を安定させたり、地下水をきれいする水源かん養の役割」と答えた人の割合が41.8%と最も高く、続いて「山崩れや洪水などの自然災害を防止する役割」(39.0%)、「森林などが二酸化炭素を吸収して地球温暖化を防止するなどの環境を保全する役割」(35.0%)の順となっている。

### (7) 最近1年の間に農林水産物を販売する直売所を訪れた目的

**「新鮮でおいしい農林水産物を購入（飲食）するため」が50.1%**

最近1年の間に農林水産物を販売する直売所を訪れた目的について、「新鮮でおいしい農林水産物を購入（飲食）するため」と答えた人の割合が50.1%と最も高く、続いて「手ごろな価格の農林水産物を購入（飲食）するため」(32.4%)、「生産者の顔の見える安心・安全な農林水産物を購入（飲食）するため」(22.5%)の順となっている。

一方で、「訪れていない」と答えた人の割合は、30.6%となっている。

## 6 土地利用対策について

### (1) 地域の土地利用状況に関して感じている問題

#### 「空き地や空き家・空き店舗が目立つこと」が29.5%

地域の土地利用状況に関して感じている問題について、「空き地や空き家・空き店舗が目立つこと」と答えた人の割合が29.5%と最も高く、続いて「道路整備の遅れや老朽化が目立つこと」(21.7%)、「耕作を放棄した農地が存在していること」(17.5%)の順となっている。一方で、「特に問題は感じていない」と答えた人の割合は、23.0%となっている。

### (2) 愛知県の土地利用に関して深刻だと感じる問題

#### 「空き地や空き家・空き店舗の増加により、防災・衛生・景観等、生活環境に深刻な影響を及ぼすこと」が57.2%

愛知県の土地利用に関して深刻だと感じる問題について、「空き地や空き家・空き店舗の増加により、防災・衛生・景観等、生活環境に深刻な影響を及ぼすこと」と答えた人の割合が57.2%と最も高く、続いて「中心市街地の空洞化や郊外部の活力低下・衰退が進むこと」(31.8%)、「所有者の所在の把握が難しい土地（所有者不明土地）が増加すること」(28.2%)の順となっている。

### (3) 県土の自然環境に関して特に深刻だと感じている問題

#### 「愛知県に本来生息生育していない外来種が野生化して定着し、在来の生物の生息生育空間が奪われること」が45.8%

県土の自然環境に関して特に深刻だと感じている問題について、「愛知県に本来生息生育していない外来種が野生化して定着し、在来の生物の生息生育空間が奪われること」と答えた人の割合が45.8%と最も高く、続いて「生態系を保全し、人と自然が共生してきた里地里山等が荒廃すること」(34.8%)、「多様な生物の生息生育空間であった緑地や水辺の減少・質の劣化が見られること」(30.6%)の順となっている。

### (4) 災害リスクから安心・安全を確保するため土地利用の面から重要な対策

#### 「道路・鉄道、ライフライン（電気・ガス・水道等）の多重化やバックアップを進める」が59.3%

災害リスクから安心・安全を確保するため土地利用の面から重要な対策について、「道路・鉄道、ライフライン（電気・ガス・水道等）の多重化やバックアップを進める」と答えた人の割合が59.3%と最も高く、続いて「災害時に重要な役割が期待される公共施設（行政・病院・エネルギー施設等）について、分散配置や災害リスクの低い地域への移転を進める」(35.7%)、「道路、橋梁、ダム、堤防等の整備や耐震性を向上させる」(34.9%)の順となっている。



## (5) 農地や森林の開発に関する土地利用規制

**「計画的な土地利用を促すため、ある程度の規制はやむを得ないが、規制ではなく、土地利用計画などの他の誘導方法を考えるべき」が35.3%**

農地や森林の開発に関する土地利用規制について、「計画的な土地利用を促すため、ある程度の規制はやむを得ないが、規制ではなく、土地利用計画などの他の誘導方法を考えるべき」と答えた人の割合が35.3%と最も高く、続いて「計画的な土地利用を促すため、行政による規制は必要であり、継続ないし強化すべき」(22.2%)、「自然環境の保全など、必要最小限の規制にとどめるべき」(14.3%)の順となっている。

## (6) 県土づくりへの参加

**“参加したい”が33.4%、“参加しない”が31.6%**

県土づくりへの参加について、「参加したい」(5.4%)、「自分の生活に直接影響が生じることになったら参加したい」(15.3%)、「費用の支援や一緒にやろうという人・団体などの条件によっては参加したい(参加してもよい)」(12.8%)を合わせた“参加したい”と答えた人の割合が33.4%となっている。

一方で、「時間的な余裕がなく参加できない」(25.4%)と「参加したくない」(6.2%)を合わせた“参加しない”と答えた人の割合は、31.6%となっている。

## (7) 県や市町村に特に力を入れて欲しい土地利用対策

**「地震や局地的豪雨などに対する備えを強化し、災害に強いまちづくりを進める」が57.7%**

県や市町村に特に力を入れて欲しい土地利用対策について、「地震や局地的豪雨などに対する備えを強化し、災害に強いまちづくりを進める」と答えた人の割合が57.7%と最も高く、続いて「高齢者など住民が安心して暮らせる、地域公共交通と連携したコンパクトなまちづくりを進める」(52.5%)、「無秩序な開発を防ぐため、土地の開発に対して適正な規制や指導を行う」(28.6%)の順となっている。